

55・7月
第96号
根岸編 岳集
中杉村山 愛雪 岳風

吟道月報

会員数(55・7現在)

返子地区 144名

葉山地区 222名

大船地区 65名

合計 431名

日本詩吟学院岳風会 認可

神奈川 碩心会 発行

魅せられて

木の下支部 松 尾 秀 泉

人との出逢いとか、あることに感動し、それまで心に眠っていたものが一瞬目醒めるとかいうことは、不思議なタイミングがあるようです。私は当地に住むようになって約十年になりますが、幸い良い友に多く恵まれ、二・三の趣味にも生甲斐を覚える昨今です。

岳風流詩吟との出逢いは全くその一つで私の場合はまあ吟でも暇遣いにはやろつかというのではなく偶然の機会に耳にした詩吟に魅せられてしまったからなのです。五年程前の日曜日の事で、ふと目にした葉山マリーナーでの詩吟・詩舞開催のビラに、それこそ詩舞とはどんなものか見てやろ

う位の安易な気持ちで足を運んだのでしたが、吟が進行するに従い私の身体は全神経を集中して舞台の慮になつていました。今でもはつきり覚えていますが、守谷宗風さん吟、良寛の無心に私は全く魅せられて、従来の詩吟観は根底から覆っているではありませんか。もう一つ忘れ得ぬ吟は林岳夢先生の日本を愛する、その堂々たる吟声と態度に唯々感動するばかりでした。この日、いや時点を契機に、自分もヨシやってみようかとえ声量は貪しくとも吟の内容に没我することは出来ようと決心したのでした。それこそ魅せられて……その後石渡桂風先生の御指導を仰いでいますが、ここで又魅せられた

一事があるのです。入会後一年目位の時です。会長根岸岳萃先生が態々御指導に見えられた時の吟です。全く感銘いたしました。先生の模範吟は実に音吐朗々、牙え響き、莊重に、私達皆の胸に迫って来るのです。嗚呼あの吟声は深く脳裡に刻みつき、爾來先生のお顔を拝見する度に当夜の吟声が轟々と甦り、自愛更に期す吟道心と云う感懐を新たにす所似も吟に強く魅せられての事です。

塩神樂波一ト刻の黙ありぬ

(森戸神社六月十六日祭礼)

青踏あおふみが無心の中の無心の詩

私と詩吟

風早支部 葉狩明泉

私は葉山に住むようになって二十二年にもなりますが、いまだに関西訛りが抜けないうで懸命にこちらの言葉の抑揚を習おうとするのですが、マネる程どうもきこちないことにはなります。もう仕方ないのでそのまま放置しておりますので、どなたでも「あゝ、あなたは

関西の方ですわ」と「はい、そうですね」と答えるハメになっている。

詩吟の会においては、いずれの訛りもその関係がないかに思われたが、詩文を朗読する時、発声する時に於て、他の人と少々ニュアンスの違ったアクセントを指摘されて直そうとするけれどむずかしく、生来の音痴的なカンにはぶさも手伝って、いよいよ大汗をかいております。

わが風早支部の教室は現在十一名、五十二年春に石川電気店経営の石川豊山さんの御好意で毎回お部屋を提供して下さい、また師と仰ぐ美声の持主の杉山雪風先生の一途にまじめて御熱心な御教導を頂き、週一回水曜の夜は得がたい幸福な好日となっております。

しかしその好日も、他の吟友の方にとってはずいぶん迷惑の日かとも恐縮しておりますのは、私わがの高音による発声に、平安をブチこわしているからであります。下手な横好きとどうか御寛容の程を、こんなへたくソ

ではつゆ知らず、誘った人にお気の毒ですが、私には老境に入って得た唯一の生甲斐みつけたりと喜んでゐる次第で無邪気に「お出でよ」と誘ってくれた吟友、中村梯泉さんに今はただただ感謝あるのみです。

そんな折しもこの度碩心会温習会での合吟コンクールで奇蹟的に（先生曰く）優勝できた事は吟じた私達も驚き、夢の様な気持ちです。なにせ初出場ですから笑われぬように、やれるだけやってみようと、オ一声の揃う事に主眼として、大平洋の「日はー、日はアー」を練習、しまいはうちの幼い孫も詩文を覚えてしまひ笑ってしまひました。少レくひねたニューフェースの出場ですが、先生の御注意のままに素直に発揮できたらと、また初出場の風早支部の名において「やったる也」という迫力を出され、ば充分という事でレたのに優勝カップと口ワイ等、お相模さんが賞状のようなものを持ちかえり、主人や息子まで本当にしてくれないで困りました。

プロフィール……

小峯桜岳先生

まず堀内支部の名物男……といいたいとこの堀内支部設立当時から一貫して支部の為に益くれ、会員最多数を誇る今日の堀内支部の礎を築いた人、出席率は200%……とハウのは何かと御用の多い根岸先生の代範をつとめる事れば、私達も協力しなくてはと思いつつもついつい口先だけとなり申訳ないと思つてゐる。それを一手に引きうけて教場に出てこれらに在る先生に頭が下ります。

持前の茶目つ気も手伝つてか、時々奇抜なアイデアを出されるユニークな存在です。これも会を愛するこそこの気持ちが無となく通じてくるのです。

小柄な身体はいとも軽やか、実際の年令よりはるかに若く見える。忘年会の棟を席にはまずこの先生を以ては始まらない。酔う程に炭坑節、ソーラン節の踊りが始まり、会は一役と盛りあがる。名物男たる所似である。いつまでも頑張つて下さい。

（愛 岳）

横須賀第二
地区大会

連吟コンクールに二位入賞

(上位入賞左記の通り)

75 一位(青嵐会)……本能寺

木村 光男
稲葉 博

773 二位(傾心会)……書 懐

松井 正治(正泉)
鈴木 幸男(清山)

769 三位(秀吟会)……祝賀の詞

地本キ又子
刀根 京子

△△計からのお願い

総本部納入の時期が未ましたので、各支部におかれましては納入の準備(会員からの徴収)をしておいて下さる様、尚各支部の人数及び期日については近日中に請求の用紙を送付いたしますつもりです、
本部への納入は秋秀昇段審査までにしたいと思っておりますのでよろしく、(秋元)

(訂正)

六月号記載の三井愛岳先生の住所桜山一七
一十を一一七一三十に訂正

(移籍)

白井照山さん 逗子B支部より沼間支部へ

(入会)

(銀詠支部) 山本 栄子 逗子市新宿三九八

(電) 〇四六八一七一一三六一〇

() 三壁 猛夫 逗子七三〇九

(電) 〇四六八一七三〇五一六

(堀内支部B) 矢島 佳子 葉山町堀内一五七〇

(電) 〇四六八一七五一一三九二〇

() 池田 敏子 〇一一五五

(電) 〇四六八一七五一一三三一七

() 矢島 時子 〇二四五〇三

(電) 〇四六八一七五一一四五二八

() 高井 道子 〇六〇七

(電) 〇四六八一七五一一一九九

() 小西 カツ 長柄ニ八〇

(電) 〇四六八一七五一一三一九三

() 鈴木 静枝 〇一色二四九三

(電) 〇四六八一七五一一三九四二

(退会) (一色B支部) 田口 敦